

JIS

アルミニウム及びアルミニウム合金の 陽極酸化塗装複合皮膜

JIS H 8602 : 2010

(JAPA/JSA)

平成 22 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 非鉄金属技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	神 尾 彰 彦	東京工業大学名誉教授
(委員)	木 股 隆 三	株式会社ビスキャス
	小 出 正 登	日本伸銅協会 (三菱マテリアル株式会社)
	近 藤 良太郎	社団法人日本電機工業会
	齋 藤 鐵 哉	独立行政法人物質・材料研究機構
	下 村 孝	社団法人日本鉄道車輛工業会
	田 村 泰 夫	日本鋳業協会
	中 野 利 彦	株式会社神戸製鋼所
	中 村 守	独立行政法人産業技術総合研究所
	西 村 尚	東京都立大学名誉教授
	林 央	独立行政法人理化学研究所
	町 田 克 己	住友金属鉱山株式会社
	矢 萩 強 志	財団法人日本船舶技術研究協会
	吉 田 英 雄	社団法人軽金属学会 (住友軽金属工業株式会社)
(専門委員)	野 原 慈 久	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 52.3.1 改正：平成 22.1.20

官 報 公 示：平成 22.1.20

原 案 作 成 者：軽金属製品協会

(〒107-0052 東京都港区赤坂 2-13-13 アーブセンタービル TEL 03-3583-7971)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：非鉄金属技術専門委員会 (委員長 神尾 彰彦)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	2
5 品質	3
5.1 外観	3
5.2 性能	3
6 試験	4
6.1 一般事項	4
6.2 試験片	4
6.3 外観試験	4
6.4 陽極酸化皮膜厚さ試験	4
6.5 キャス試験	4
6.6 塗膜の付着性試験	5
6.7 塗膜の耐溶剤性試験	5
6.8 耐アルカリ性試験	5
6.9 複合耐食性試験	6
6.10 促進耐候性試験	6
7 検査	7
8 表示	8
9 報告	8
附属書 A (規定) 耐食性試験の評価に用いるレイティングナンバ標準図表	9
附属書 B (規定) 耐アルカリ性試験の評価に用いるレイティングナンバ標準図表	15
附属書 C (参考) 種類	17
解 説	18

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、軽金属製品協会 (JAPA) 及び財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS H 8602:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 22 年 7 月 19 日までの間は、工業標準化法第 20 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく **JIS** マーク表示認証において、**JIS H 8602:2006** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

アルミニウム及びアルミニウム合金の 陽極酸化塗装複合皮膜

Combined coatings of anodic oxide and organic coatings on aluminium and aluminium alloys

1 適用範囲

この規格は、アルミニウム及びアルミニウム合金の展伸材の素地の防食、美観などを目的として施す陽極酸化塗装複合皮膜（以下、複合皮膜という。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 7753 サンシャインカーボンアーク灯式の耐光性試験機及び耐候性試験機

JIS H 0201 アルミニウム表面処理用語

JIS H 8680-1 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜厚さ試験方法－第1部：顕微鏡断面測定法

JIS H 8680-2 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜厚さ試験方法－第2部：渦電流式測定法

JIS H 8681-2 アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜の耐食性試験方法－第2部：キャス試験

JIS K 5600-5-4 塗料一般試験方法－第5部：塗膜の機械的性質－第4節：引っかき硬度（鉛筆法）

JIS K 5600-5-6 塗料一般試験方法－第5部：塗膜の機械的性質－第6節：付着性（クロスカット法）

JIS K 5600-7-7 塗料一般試験方法－第7部：塗膜の長期耐久性－第7節：促進耐候性及び促進耐光性（キセノンランプ法）

JIS K 5600-7-8 塗料一般試験方法－第7部：塗膜の長期耐久性－第8節：促進耐候性（紫外線蛍光ランプ法）

JIS K 8271 キシレン（試薬）

JIS K 8576 水酸化ナトリウム（試薬）

JIS Z 1522 セロハン粘着テープ

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8720 測色用標準イルミネラント（標準の光）及び標準光源

JIS Z 8741 鏡面光沢度－測定方法

JIS Z 9112 蛍光ランプの光源色及び演色性による区分